

アトム の 広場

Shimane Atomic Information

しまね原子力広報 2000.1

NO. 46



表紙写真:「山里の正月」(三刀屋町)三加茂幸子

contents

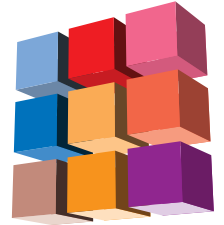
目次

環境放射能調査結果のお知らせ	2 ~ 3
島根原子力発電所の運転状況メモ	2
温排水調査結果のお知らせ	4
環境放射線の年間データホームページ紹介	5
島根県原子力発電調査委員会の開催	6 ~ 7
原子炉等規制法の改正及び原子力災害対策特別措置法の制定について	7
ふるさと昔ばなし	8

島根県

環境放射能調査結果のお知らせ(1)

Shimane Atomic
Information
アトム広場



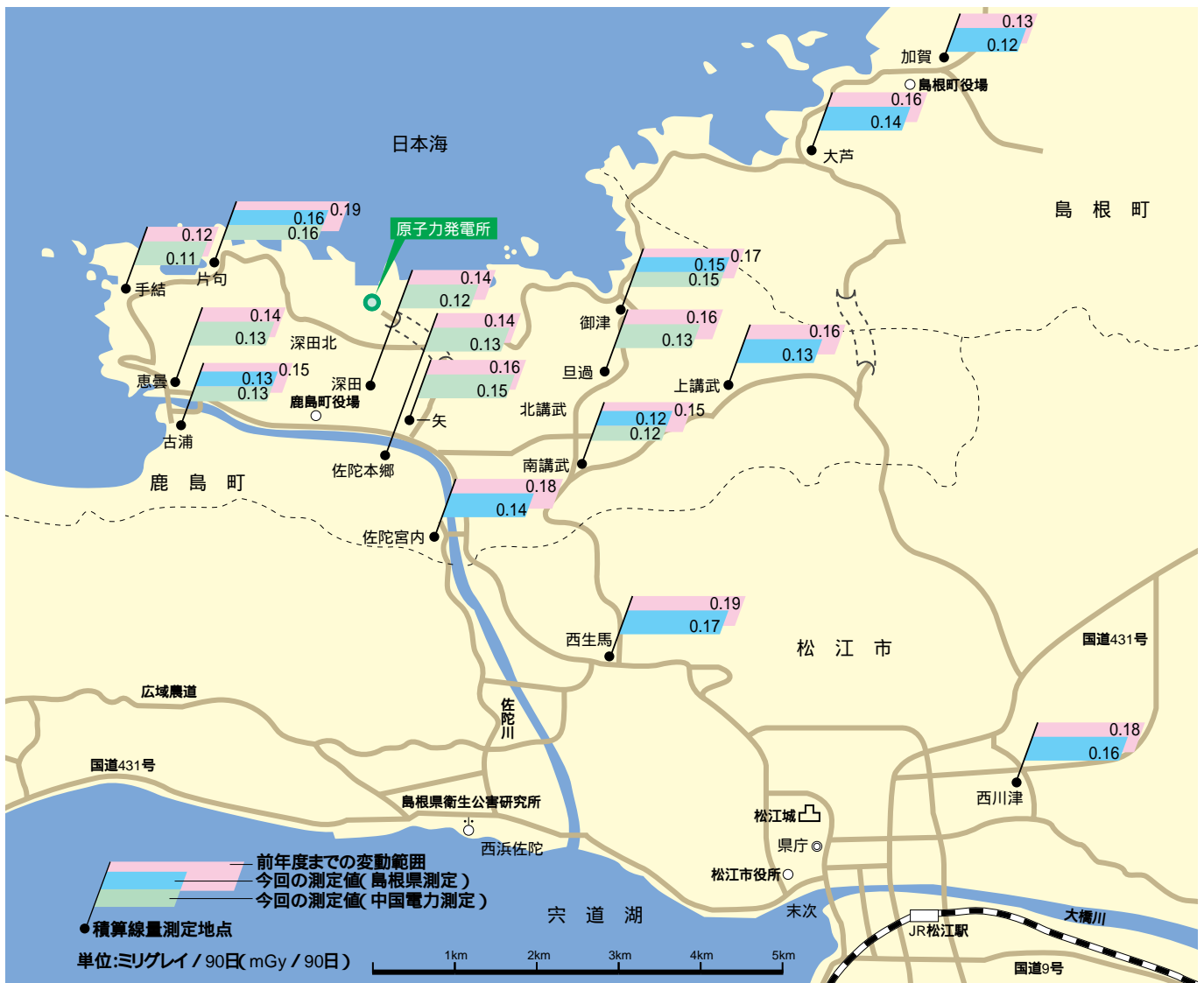
平成11年7月～9月分

お問い合わせ先 島根県環境政策課 TEL.0852-22-5278

今期の調査結果を検討・評価したところ 島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

空間放射線積算線量

各測定地点で熱ルミネセンス線量計により、約3ヶ月間環境放射線を連続測定したのですが、測定された放射線のほとんどがその地点の自然放射線によるものです。



島根原子力発電所の 運転状況メモ

[7月～9月]



1号機

定格出力46万kW
全期間定格出力運転

2号機

定格出力82万kW
定期検査中(5月11日～)
7月7日 原子炉起動
7月9日 発電開始
8月3日 総合負荷性能検査合格
第8回定期検査終了
以降期間中定格出力運転

「前年度までの変動範囲」と「過去の変動範囲」

「前年度までの変動範囲」.....過去5年間の測定データの最小値と最大値の範囲。

「過去の変動範囲」.....H8.4～H10.3までの全データを統計処理した値の範囲。

これらは、測定条件、気象状態や自然環境などによって変動する測定値に対しその原因を調査した方がよいかどうかのふり分けをする大まかなレベルであり、範囲をはずれた測定値については原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無等を判断します。また、この範囲は人体に影響を及ぼすレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するための基準ではありません。なお、本誌においては範囲の上限値のみを記載しています。

環境放射能調査結果のお知らせ(2)

Shimane Atomic
Information
アトム広場

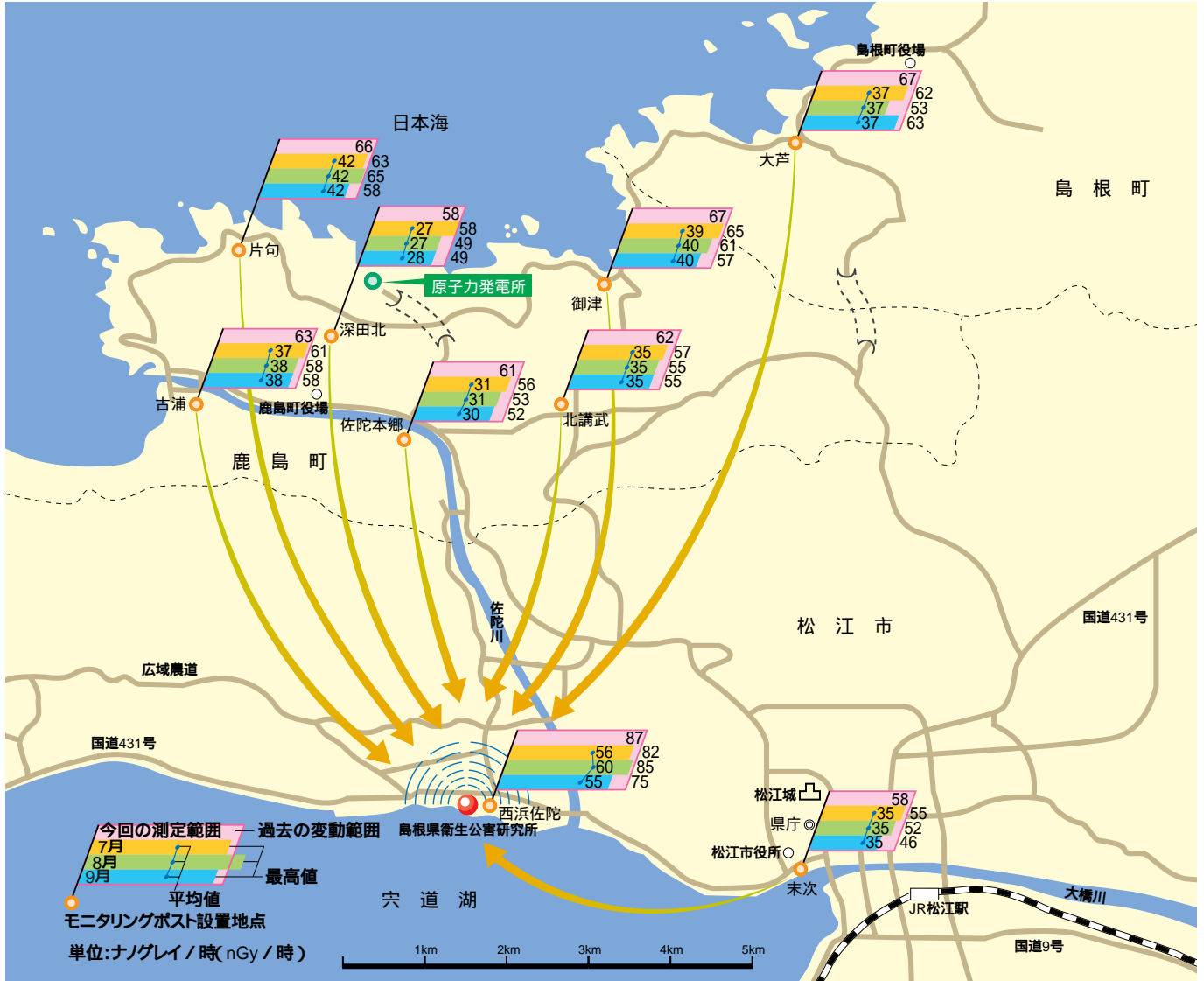


平成11年7月～9月分

お問い合わせ先 島根県環境政策課 TEL.0852-22-5278

空間放射線線量率

モニタリングポストにより測定した結果です。測定されたもののほとんどが自然放射線によるものです。過去の変動範囲を超えた値はいずれも降水によるものでした。



テレメータシステムにより衛生公害研究所において集中監視をしています。

環境試料中の放射能

一部の試料から核実験などによるものと思われる微量の放射能を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

線スペクトロメトリーによる分析結果

試料区分	測定結果
浮遊塵	-
牛乳(原乳)	-
海産生物(さざえ)	-
海産生物(むらさきいか)	-
陸土	対象核種のうち ¹³⁷ Csが、3.5～14ベクレル/kg(風乾物)検出されました。

単位：浮遊塵 μBq/m³、牛乳 mBq/、海産生物 Bq/kg(生) 陸土 Bq/kg(風乾物)
線スペクトロメトリー対象核種 牛乳：¹³¹I その他の試料：⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁷Cs
「-」は検出下限値未満を示す。

ストロンチウム90測定結果(4～6月採取分)

試料区分	測定結果
海水	⁹⁰ Srが、1.8ミリベクレル/l検出されました。
松葉	⁹⁰ Srが、0.98ベクレル/kg(生)検出されました。
農産物(茶)	⁹⁰ Srが、1.7ベクレル/kg(生)検出されました。
海産生物(さざえ)	⁹⁰ Srが、0.02ベクレル/kg(生)検出されました。
海産生物(わかめ)	⁹⁰ Srが、0.06ベクレル/kg(生)検出されました。

単位：海水 mBq/、松葉・農産物(茶)・海産生物(さざえ、わかめ) Bq/kg(生)
「-」は検出下限値未満を示す。

温排水調査結果のお知らせ

Shimane Atomic
Information
アトム広場



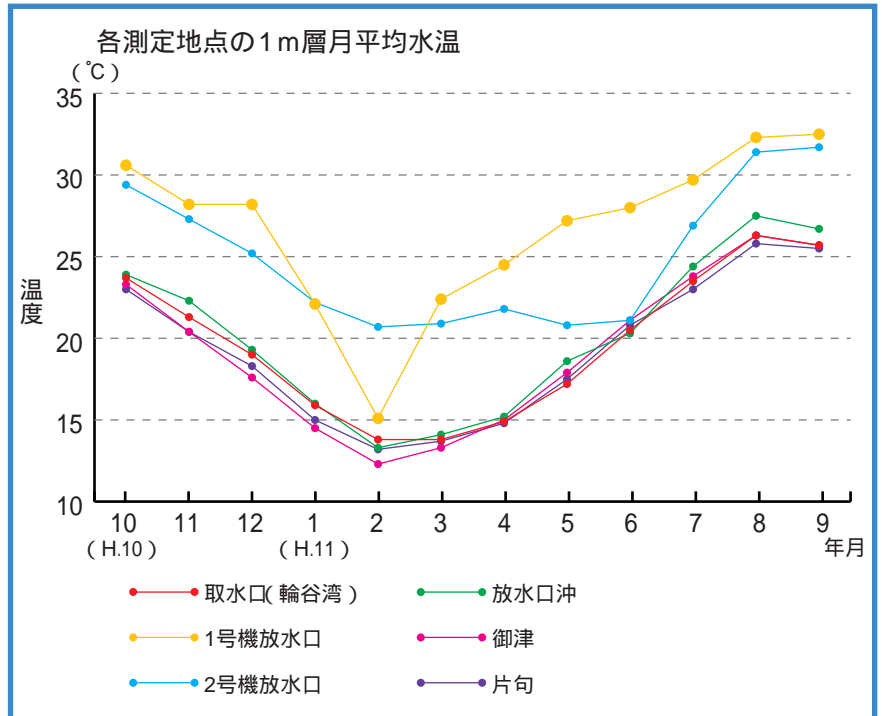
平成11年7月～9月分

お問い合わせ先 島根県漁業管理課 TEL.0852-22-5315

島根原子力発電所周辺海域の水温分布と水色を島根県と中国電力(株)が調べています。このほど7月～9月の調査結果がまとまりました。

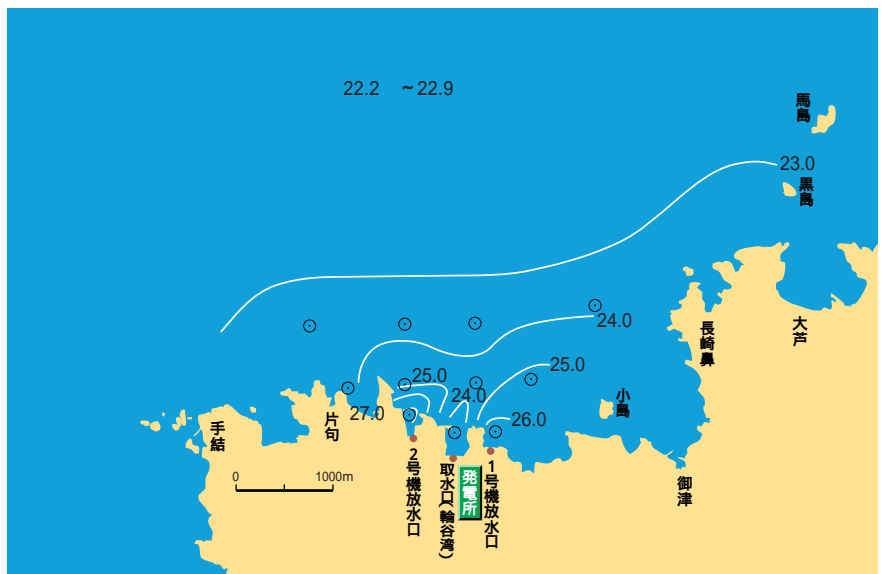
沿岸定点の水温 (7～9月測定)

1号機放水口の水温は、取水口の水温と比較して、7・8・9月ともに7.0～8.0程度、また、2号機放水口の水温は、同じく7月は0.0～7.0程度、8・9月ともに6.5～7.0程度高めでした。



沖合定線の 0m層水温 (7月12日測定)

水温の分布状況は右の図のとおりでした。
 : 温排水の影響があったと思われる定点
 : 等温線は1 間隔で示してあります。なお、1 未満の海域は水温範囲で示しました。
 : 温排水の影響があったと思われる定点：
 基準水温より1 以上高い水温
 : 基準水温：沖合定線の中で最も沖合5定点の水深別平均値



海の色 (7月12日測定)

今期の測定結果は水色(番号)で表すと **4** **5** で、特に変わりありませんでした。

観測場所	取水口付近	1号機放水口付近	2号機放水口付近	1号機放水口沖北 2000m付近	1号機放水口沖北 4000m付近
水色(番号)	4	5	4	4	4

(注) 水色とは、白昼海面の真上から肉眼で観察した海の色で、一般にフォーレルが考案した標準液と比較する方法で測定されています。標準液番号は1～11までがあります。

今まで観測されたこの海域の色は **2** **3** **4** **5** **6** です。

のぞいてみよう! 環境放射線の年間データホームページ



Shimane Atomic Information
アトムの広場
お問い合わせ先
島根県環境政策課
TEL.0852-22-5278

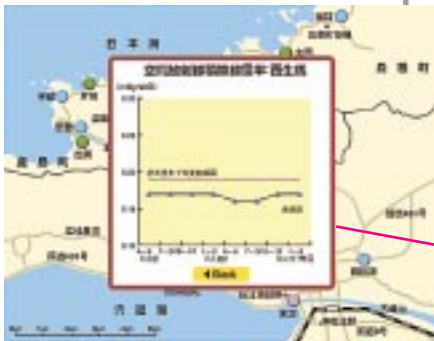
島根県では、島根原子力発電所の周辺地域等を対象に空間放射線等を測定し、発電所の周辺環境への影響を調査しています。その測定結果は3カ月ごとにとりまとめ、本誌や新聞広報などでお知らせしています(本誌 No.46では、2、3頁に7~9月の測定結果を掲載しています)。

でも、測定データが半年前や1年前とどのくらい変化しているのかは、どうしたらわかるのでしょうか。そんなときはインターネットのホームページ「環境放射線年間データ」*をのぞいてみましょう。このホームページでは測定地点ごとに2年間のデータの動きがわかります。グラフがポン!と飛び出るよ。

* (このホームページを快適にご覧になるためには、マクロメディア社の Shockwave & Flash のプラグインが必要です)

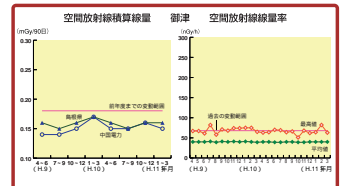
環境放射線年間データのURL <http://www2.pref.shimane.jp/kanpo/enviro.htm>

測定地点ごとのボタンをクリックすると、その地点の年間データを見ることができます。



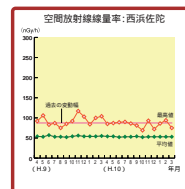
データの内容によりボタンは色分けされています。

● 空間放射線積算線量・空間放射線線量率



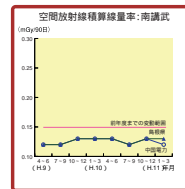
空間放射線積算線量・空間放射線線量率の過去2年間の変動を表しています。

● 空間放射線線量率



空間放射線線量率の過去2年間の変動を表しています。

● 空間放射線積算線量



空間放射線積算線量の過去2年間の変動を表しています。

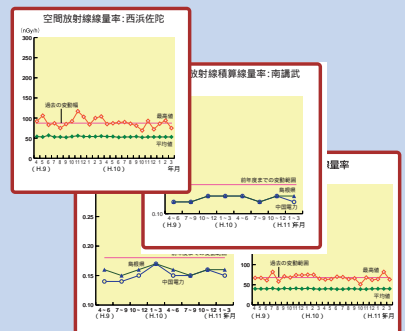
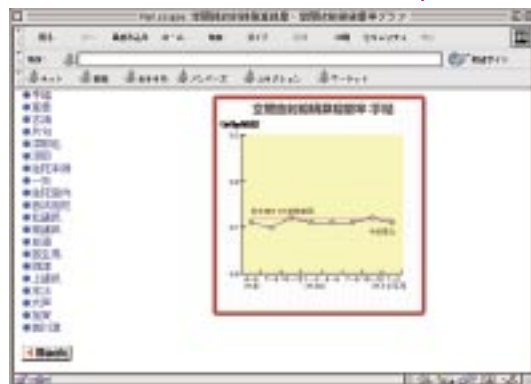
しまね原子力広報「アトムの広場」のホームページとリンクしています。

PDFによる精細な表示で「アトムの広場」のバックナンバーを見ることができます。

アトムの広場URL <http://www.pref.shimane.jp/section/atom/index.htm>

プリントアウト用のページを用意しています。

グラフの画面をプリントアウトできない場合は、プリントアウト用のページをお使いください。各地点ごとの測定データを納めています。測定地点名のボタンをクリックするとデータを表示します。



鶴女房

島根県隠岐地方に伝わるおはなし



かたりべさんが語る

ふるさとと告白ばなし

第3話

お父さんお母さん、お子様に読んであげてくださいね。

昔、狩人が向こうの小枝に鶴が一羽止まっていたので、それを撃とうと狙ったところ、それを見つけた貧乏な人が、「鶴はかわいやナンマンダブツ」とうたうと、それを聞いた鶴は飛んで逃げてしまった。

四、五日たって、その人の家にきれいな娘さんが来た。「必ず嫁にしてくれ」

「貧乏なので嫁をもらっても生活できないからだめだ」「食べることは自分ですっから、嫁にしてくれればいい」

とうとう断わりきれずに嫁にしてやると、嫁さんは、「今日は杵を借りて来て」「今日は木綿車を借りて来て」と婿さんに借りてこさせ、朝から晩までそれで機を織り、でき

あがったところ、「これを町で売って来て」と言う。婿さんは売りに行った。

ところが、とてもよい値で売れた。帰ると嫁さんが奥の一間へ入って、いつぱんに姿が変わって、羽のない元の鶴になってしまった。

「自分は、こないだ命をおまえに助けてもらった。その恩返しに自分の羽で機を織って金に換えさせたわけだ。この金は必ずためになるように使ってほしい。今度、だれかがいらぬものがあれば、それを買いなさい」と言い残して去って行った。

「いらぬものがあれば、よい値で買つから」と婿さんが漁師の方へ出かけて行ったところ、

「あ、おもしろい男が出てきた。それなら海岸近くの藻葉を売ろう」と漁師たちがそれを売った。婿さんは金が半分しか残らないし、買った藻葉

の始末についても困っていたら、漁師の親方が来た。「一つ相談にきた。おまえに藻葉を売ったが、藻葉がなくなったら魚がおらんようになり困つておる。おまえの家ほど金をやるので、契約を解除してくれ」。婿さんも本当は金がなくなり困っていたので喜んで、家ほど金をもらい契約をやめたそうなので、それで人に報いれば、必ずいいことが報われるから、人は助けてあげなければならぬと。

解説

おなじみの昔話「鶴女房」の隠岐版である。知られている話とはいくつか違うところがあるが、特に最後の「いらぬものがあれば、値よくに買つから」と藻葉を買ってくたりは、一般型には見られない部分でありおもしろい。

昭和四十八年六月に隠岐郡海士町保々見の川西茂彦さん（明治二十七年生）からうかがった。川西さんは長く海外航路に出ておられた方で、孫のような高校生たちの訪問を歓迎していろいろと話してくれたのものである。



かたりべ：川西茂彦 再話・解説：酒井董美 さし絵：福本隆男

平成11年度広報・安全等対策交付金事業
編集・発行 島根県環境生活部環境政策課
〒690-8501 松江市殿町1番地 TEL(0852)22-5278